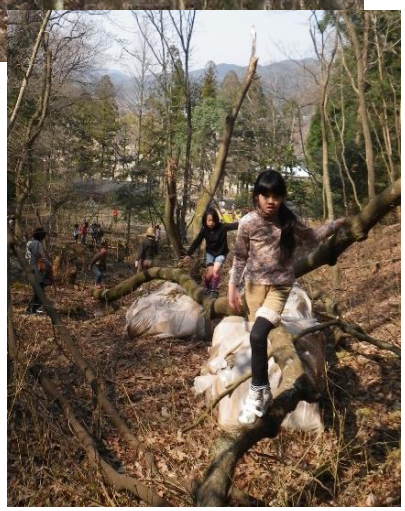
一宝池プレイパーク

PLAY PARK

かいさいのようす

平成２４年度

卯月



● プレイパーク開催のようす　～通常プレイパーク～

H24年　4月 1日（日）	
天候:　晴 れ	気温: 11.0℃
内容: □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー□折り紙飛行機	
参加者数　140 人	
スタッフ: 2 人 ・リーダー: ー ・緑化協会：野田、小川	

○ まだまだ寒いですが、日差しはすっかり春。
春の混雑期を直前に、家族みんなで、春休みをのんびり、ゆったりと楽しんでいました。
いつもより、おじいちゃんやおばあちゃんの姿が多かったようですね。

H24年　4月 8日（日）	
天候: 晴れ時々曇り	気温: 16.0℃
内容 □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬,□ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー□折り紙飛行機□	
参加者数　300 人	
スタッフ: 3 人 ・リーダー: けんこば ・緑化協会：野田、小川	

○ 2・3日前の雨と大風で、森の中で、大きな木が、バキっと折れて倒れていました。
それを見つけた子どもたちは、さっそく遊び場にしてしまいました！
お父さんも一緒になって、自然のアスレチックを満喫？！子どもの写真撮影にも、力が入っていたようです。

・新リーダー、かくれんぼ中

H24年　4月 15日（日）	
天候: 晴れ時々曇り	気温: 19.0℃
内容 □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー□折り紙飛行機	
参加者数　350 人	
スタッフ: 2人 （ハイキングは別途掲載） ・リーダー: ー ・緑化協会：野田・小川	

○コマ初心者に、上手にコマ回しの基本を教えるセンパイ小学生。彼が教えた初心者は、次々にコマがまわせるようになっていきました…すごい！

H24年　4月 22日（日）	
天候: 曇り のち雨	気温: 16.0℃
内容 □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー□折り紙飛行機	
参加者数　2 人	
スタッフ: 2 人 ・リーダー: ー ・緑化協会：野田・小川	

○22日は、くもり空から、すぐに雨が降り出してしまいました。
しずかなプレイパークでは、小鳥たちの声が、美しく響いていました。

・体操教室に通う彼は、いま、側転に夢中。連続技披露中

H24年　4月 29日（日）	
天候: 晴れ	気温: 29.0℃
内容 □輪投げ □フラフープ □コマ □竹馬 □ケン玉 □なわ跳 □ドッジビー□折り紙飛行機	
参加者数　400 人	
スタッフ: 7 人 ・リーダー: ちゅら、しゅん、つとむさん ふるさん、かわにゃー ・緑化協会：野田・小川	

○22日は、くもり空から、すぐに雨が降り出してしまいました。
しずかなプレイパークで、小鳥たちの
声が、美しく響いていました。

～自然あそび教室～　今月は『新緑・木の花をたのしむ 』がテーマです　卯 月

H24年　4月 7日（土）

13:00～16:00

天候：曇り時々晴れ　気温：9.0℃

プログラム
「ツツジにそまる 宝が池ハイキング１」

参加者数　6　人

スタッフ：３ 人
・スタッフ：ばんちゃん
・緑化協会：　野田・小川

○宝ヶ池の自慢ひとつ‘コバノミツバツツジ’を楽しむ恒例の春のハイキング！
今年は、冬から春への季節の移り変わりの時期に寒い日が続いたため、開花が例年より 10 日ほど遅くなりました。２週間続けてのハイキング・・15 日は見事な紅紫色の花を満喫しました。山の手入れを続けることでこの素敵な花木は、元気に育つことができます。すばらしい環境を引き継いでいくことを、みんなで考えていきたいですね。

まだちょっと早かった８日

歩きながら見つけた、‘お気に入り’を披露しました！

市街地のすばらしい眺望も楽しみ

H24年　4月 15日（日）

天候：晴れ時々曇り　気温：19.0℃

プログラム
「ツツジにそまる 宝が池ハイキング２」
～ネイチャーゲームを楽しみながら Let’ｓハイキング～

スタッフ：　７　人
・講師＆リーダー：おかず、ふるさん ＋３名、　カワニャー
・緑化協会：　野田

***15 日は、ベストコンディション！
森のあっちもこっちも、コバミツの花がいっぱいです。
この日は、ネイチャーゲームを楽しみながらのハイキング。活発になってきた虫たちの姿や、暖かくなりグッと成長をはじめた木々を、五感を使って楽しく観察。どんな発見があったかな・・??

みんなで、蜜をすいました。けっこう甘かったです＾＾

H24年　4月 21日（土）

13:00～16:30

天候：晴れのち曇り　気温：18.0℃

プログラム
「新緑を楽しみながら 木に名札をつけよう！」
～樹名板取り付け＆花壇づくりスタート～

参加者数：　18　人

スタッフ：　３　人
・リーダー：　山口
・緑化協会：　野田・小川

○公園内の「樹名札」をみんなでとりつけよう！
・・去年の秋に台風のため中止になってしまったプログラムをようやくおこなうことができました。これまで、大学生のリーダーなどが作って‘焼き板’の樹名板を、クイズを交えて楽しく観察しながら、取り付けていきました。
葉っぱが出ていない木もあり、全部の木に名札をつけることができなかったので、続きは秋の紅葉の頃を予定しています。

名札をつけようとしたら、カメムシが集団でウヨウヨ…

樹名札の裏にサイン
自分がつけた木を
覚えているかな～??

普段気づかない木の花・・・
実は　開花真っ最中でした

最後に花壇作りにも参加。いっぱい花が咲いてほしいですね

★★　ミニプレイパーク　　～～　宝が池　森の幼稚園　をめざそう　～～

「幼児向け　プレイパーク」　　試行開始！

H24年　4月　13日（金） 10:00～11:30	
天候：　曇　り	気温：18.0℃
内容 □絵本読み聞かせ □公園のおさんぽ　など	
参加者数　　4　人	
スタッフ：　2人 ・緑化協会：小谷・野田	

H24年　4月　22日（火） 14:00～15:30	
天候：　晴れ	気温：20.0℃
内容 □絵本読み聞かせ □森のおさんぽ＆宝探し　など	
参加者数　　14　人（7組）	
スタッフ：　2人 ・緑化協会：小谷・野田	

○3月から開始した
　幼児対象の自由遊びを楽しむ
ミニプレイパーク

○コバノミツバツツジが、子どもの楽園林縁でも見ごろを迎えたこの日。ちょうど桜も咲き乱れていました。そんな美しい公園を
のんびりお散歩・・・・

きっと素敵な景色は
小さな子どもたちの原風景の
ひとつとして刻まれたことと
思います。

○下旬に近い22日は、お天気もよく,初参加の親子もありました。森のお散歩では、動き出した虫たちをじ～っと観察？！
これは何かの卵か？？
キノコかな？？
くるっとまわった、シダの姿にも興味津々です。
まだ1歳の子も、お兄ちゃんたちに負けずに、足元の悪い‘くぼ地’に降りて探検です・・・・

自然の中では、発見が尽きません。

こんな経験が積み重なって、
身体も感性も、生き生きと
育ってくれることが
とても楽しみですね。

外できく‘お話’は
部屋の中できくのとは
ちがう感覚が
呼び起こされるようです

概　況

４月のプレイパーク＆周辺の概況

● 春休みの後半。やや寒い日もありましたが、多くの家族で賑わいました。特に土日は、3 世代そろって訪れる姿が多くみられたようです。

● 新学期を迎え、常連の子どもたちの一部の姿がみられなくなってしまい、少しさみしい季節ですが、新顔も登場してくれるはずです。
大学生リーダーも、新人が登場。早速活躍してくれています。

● 久々にほとんどの開催日は天気に恵まれ、プログラムを予定どおりおこなうことができました。
新芽から薄緑の新緑、そして次々に花が咲き、緑が濃くなっていくこの時期。季節の変化といのちの躍動感が実感できる季節です。暖かさや植物の成長とともに、身体も活発に動かしたくなります。
自然へ目を向け、観察力を高めるプログラムと、思い切り身体をつかって遊び楽しむことを、バランスよく楽しみ、経験していけるよう、フィールド管理とスタッフの協力体制を整えていきたいものです。

● カシナガ被害木の伐採後、森の中が閑散とした状態となっています。　月初の暴風雨により、枯れ枝の落下だけでなく、大きな立ち枯れの木も、太い幹の途中からばっさりと折れ倒れてしまいました。
子どもたちは、その倒木を遊び場として楽しんでいますが、一方で、落枝の危険性は続いているので、安全管理には注意が必要です。　また、地面が露出して、雨のあとの表土の流出とおもに、人が多く入ることによる、地面の踏み荒らしによる森の劣化が懸念されるため、森の中では‘入ってよい領域’や‘コースの設定’などの対応を始めています。
あわせて、森の再生に向け、シカの進入をおさえて、下草や実生苗が育つ環境を取り戻していく対策が急務といえます。

◆通常プレイパーク＋ミニプレイパーク◆

〇見通しがよくなり、下草もほとんどないため、森の中に入ってあそぶ子どもたちが、非常に多くなっています。子どもたちの、わくわく感を誘発する森は、すばらしい遊び場となっています。
〇上にも記載したとおり、遊び場としての森と、自然の生き物たちが生息する森としてのルールづくりをすすめていく必要があります。　生きもの豊かな森を保つことが、楽しい遊び場でもあり、日曜日のプレイパーク開催日に、自然あそびのプログラムの一部を実施していけるような体制づくりを進めていく予定です。
〇ミニプレイパークについては、中心となって参加しているお母さんたちもまだまだ試行錯誤。ゆっくりと考えながら、幼児にとっての豊かな体験の場を作り上げていきたいものです。

◆自然あそび教室◆

〇ようやく天候に恵まれた開催となりました。
〇宝ヶ池を代表する植物「コバノミツバツツジ」を楽しむハイキングは、自然あそびクラブメンバー向けと一般募集向けの２回開催しています。
今後も継続しながら、この環境が同様に成立しているかなど、スタッフ向けの少し踏み込んだハイキングも開催していければと考えています。
〇樹名札の取り付けは、何度も流れたプログラム。ようやく公園の木の半分程度に、取り付けることができました。今後つづきをおこなっていく予定です。
また、この樹名札を、イベント時のクイズやゲームなどにも活用していく予定です。
〇今年度は、継続的にプログラムを体験する自然あそびくらぶメンバーを増やしたいものです。そのためにも、運営協力者の発掘と関係作りにも力を入れたいです。

■公園内で今後進める予定の「花壇づくり」。この活動と、自然あそび教室の活動をうまく関連付けていけるような運営方法を検討しています。育てて、活用して、また育てていくというつながりを体験していくプログラムとして、定着していきたいものです。ただし、シカの食害への対応が大きな問題であり、現在食害にあわない種類の選定と対応を模索中です。